

授業科目	*成人看護学概論				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21316J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	大嶋 満須美、高橋 甲枝							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業はあらゆる健康レベルの成人期にある人々を対象とする看護に関する導入的科目である。授業では、急性期医療を担う総合病院での看護実績を有する実務家教員が経験を踏まえ、成人期にある人々の特徴(ライフサイクルにおける成長・発達)、成人期の人々に関わる保健・医療・福祉における動向、成人期にある人々の環境と健康、看護の特性、及び、看護に活用される理論・モデルについて概説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人々の特徴(発達課題を含む)を述べることができる。(DP1-2) 2. 成人期にある人々のおかれている環境が健康に及ぼす影響を述べることができる。(DP1-2) 3. 成人期にある人々の健康に関わる保健・医療・福祉システムの概要を述べることができる。(DP1-2) 4. 成人期にみられる健康障害の特徴を列挙できる。(DP1-2) 5. 健康レベルに対応した看護方法の特徴を述べることができる。(DP1-2,2-1,3-1) 6. 成人期にある人々の看護に活用できる関連理論・モデルを述べることができる。(DP1-2,2-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	30	5	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40		30				70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	25						25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)				5			5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標1～6の内容を総合的に理解し、各内容について80～90%説明できる。				目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について70～80%は説明できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション テーマ:成人看護学概論と位置づけ ・成人看護学の対象論 ・ライフサイクルの中での成人の位置づけ ・成人の発達段階 (大嶋)	・シラバスを用いオリエンテーションを行う ・講義	・成人の位置づけを調べておく。 ・成人の発達段階に関する理論を学習する。 ・課題をもとに各自資料作成の準備を進める。	課題達成時間 100分
2	テーマ:健康レベルにおける特徴と援助 ・健康レベルの枠組みと特徴 (大嶋)	・講義	・健康レベルと状況に応じた看護ケアの方法について復習する。	課題達成時間 100分
3	テーマ:成人期にある人の健康と課題 ・課題学習 ・課題の解説 (大嶋・高橋)	・個人学習 ・解説	・課題ワークの成果をまとめ後日提出する。 提出日:5月16日(火) 17時 提出場所:高橋研究室	課題達成時間 60分
4	テーマ:成人期にある人の健康と課題 ・課題学習の発表 (大嶋・高橋)	・発表 ・まとめ	・成人期にある健康課題について復習する。	課題達成時間 60分
5	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル セルフケア論、自己効力感、エンパワメント、 アドヒアランス/コンプライアンス (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	・講義内容を復習する。	課題達成時間 60分
6	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル ストレス・コーピング、危機理論、病みの軌跡 (高橋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義	・講義内容を復習する。	課題達成時間 60分
7	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル セルフマネジメント、成人教育理論(アンドラゴジー)、 家族看護などの理論活用 (大嶋)	・パワーポイント資料とテキストを用いた講義	・講義内容を復習する。	課題達成時間 60分
8	テーマ:継続看護と専門職連携 ・継続的な移行支援 ・まとめ (大嶋)	・パワーポイント資料とテキストを用いた講義 ・まとめ	・まとめ 「成人看護学概論」の講義内容を整理し、成人期にある人々の健康と看護について理解を深める。 ・後期の「方法論」と関連づけて学習できるよう準備を整える。	
9				
10				
11				
12				
13				

14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能				
既修の疫学、健康と栄養、疾病学、発達心理学、生活と環境、看護理論等の知識、成人の健康に関する社会的課題や政策に関する知識				
テキスト				
大西和子・藤田佐和編:成人看護学概論 第3版 ニューヴェルヒロカワ 2022(2200円)				
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介				
看護実践に活かす中範囲理論、メジカルフレンド社, 2010 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 最新版 その他は必要時に授業の中で提示します				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ				
成人看護学の総説です。後期授業「方法論」の基盤となる科目ですから、しっかり身につけて下さい。毎回、授業後には「学びと理解」を確認し、次回の授業に繋げていきます。そのため復習がとても重要となります。成人期にある対象の課題を探求し、看護のあり方について考察を深めて下さい。				

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	レポートと試験で評価を行います。試験の内容は授業中に提示します。熱心に授業に参加して下さい。課題達成については成績発表後に、評価点分布を提示します。
--------------------------------	--